

ファクトチェック結果サマリー

検証項目数：主要項目 約50件

問題あり：3件

要確認：4件

問題なし：大部分

詳細な検証結果

1. 固有名詞

1-1. 人名・基本情報

記載内容：「村岡敏英（むらおか としひで、1960年7月25日生）」

検証結果：✓正確

根拠・出典：Wikipedia、公式サイト、秋田魁新報等複数ソースで一致

記載内容：「父の村岡兼造氏は元衆議院議員」

検証結果：✓正確

根拠・出典：Wikipedia、公式サイトで確認。村岡兼造氏（1931年8月27日-2019年12月25日）

1-2. 経歴関連

記載内容：「海部内閣の運輸大臣秘書官」

検証結果：△要確認

正しい情報：より正確には「第2次海部改造内閣の運輸大臣政務秘書官」

根拠・出典：村岡兼造が運輸大臣を務めたのは「第2次海部改造内閣」（1990年12月29日-1991年11月5日）。村岡敏英氏は1990年12月に運輸大臣政務秘書官に就任。「海部内閣」と書くと複数の内閣を含むため、正確には「第2次海部改造内閣」または単に「運輸大臣政務秘書官」とすべき。

記載内容：「橋本内閣の官房長官秘書官」

検証結果：△要確認

正しい情報：より正確には「第2次橋本改造内閣の内閣官房長官政務秘書官」

根拠・出典：村岡兼造が内閣官房長官を務めたのは「第2次橋本改造内閣」（1997年9月-1998年7月）。村岡敏英氏は1997年に内閣官房長官政務秘書官に就任。

記載内容：「日本大学商学部を卒業後、飛島建設勤務」

検証結果：✓正確

根拠・出典：Wikipedia、公式サイトで確認

1-3. 選挙関連

記載内容：「2024年10月の第50回衆議院総選挙で7年ぶりに議席に復帰した」

検証結果：✓正確

根拠・出典：2024年10月27日投開票で当選確認。前回当選は2014年12月、落選は2017年10月。約7年ぶり（正確には6年11ヶ月）の復帰。

記載内容：「秋田3区（由利本荘市、にかほ市、横手市、大仙市、仙北市など）選出」

検証結果：✓正確

根拠・出典：秋田魁新報、国民民主党公式サイト等で確認

記載内容：「当選3回」

検証結果：✓正確

根拠・出典：2012年（1期目）、2014年（2期目）、2024年（3期目）

2. 役職・所属

記載内容：「国民民主党選挙対策委員長（第5代）に就任し」

検証結果：△要確認（時制の問題）

正しい情報：2025年9月16日に就任（未来の出来事）

根拠・出典：Wikipedia、秋田魁新報、日本経済新聞で「2025年9月16日就任」と確認。記事作成時点（2025年11月5日現在の想定）では既に就任している。ただし、元の文書（PDF）が「2015-2025年の総覧」としているため、2025年9月の出来事を過去形で記載することには時制的な矛盾がある。

記載内容：「衆議院の決算行政監視委員長」

検証結果：✓正確

根拠・出典：Wikipedia等で確認

3. 数値情報

3-1. 日付・年月

記載内容：「2009年前後から政党再編」

検証結果：✓正確

根拠・出典：2009年無所属出馬、2010年たちあがれ日本、その後の政党遍歴が確認できる

記載内容：「2012年の総選挙で初当選して以降2期務めたが、2017年にいったん落選」

検証結果：✓正確

根拠・出典：2012年12月16日初当選、2014年12月14日再選、2017年10月22日落選

記載内容：「2024年の衆院選で秋田3区の議席を奪還」

検証結果：✓正確

根拠・出典：2024年10月27日当選確認

3-2. 統計データ・数字

記載内容：「約7年間のブランク」

検証結果：✓正確

根拠・出典：2017年10月落選から2024年10月当選まで約6年11ヶ月～7年

記載内容：「議員在職期間（2015-2017年、2024年末以降）」

検証結果：×誤り

正しい情報：正確には「2012年12月-2017年10月、2024年10月以降」

根拠・出典：初当選は2012年12月16日。2015年ではない。

記載内容：「法案数は約9本と推定される」

検証結果：△要確認

根拠・出典：具体的な数値の裏付けが元文書にも不明確

3-3. 選挙結果の数字

記載内容：「令和6年 秋田県衆議院選挙に挑戦し、83,001票獲得し当選」

検証結果：✓正確

根拠・出典：村岡敏英公式ホームページに記載あり

記載内容：「令和4年 秋田県参議院選挙に挑戦し、162,889票獲得するも惜敗」

検証結果：✓正確

根拠・出典：村岡敏英公式ホームページに記載あり

記載内容：「令和3年 秋田県知事選挑戦し、193,538票獲得するも惜敗」

検証結果：✓正確

根拠・出典：村岡敏英公式ホームページに記載あり

4. その他の重要な事実関係

4-1. 政党遍歴

記載内容：「無所属から自民党、新党たちあがれ日本、太陽の党、日本維新の会、維新の党、無所属、改革結集の会、民進党、希望の党を渡り歩き、最終的に国民民主党に合流」

検証結果：✓正確

根拠・出典：Wikipediaの詳細な経歴記録と一致

4-2. 著書

記載内容：「『STAFF 秘書が見た日本政治の十六年』扶桑社、2004年」

検証結果：✓正確

根拠・出典：Wikipedia、公式サイトで確認。ISBN 978-4594048358

4-3. 家族構成

記載内容：「妻（つぐみ）、長男・長女」

検証結果：✓正確

根拠・出典：公式ホームページで確認

4-4. 審議会活動

記載内容：「2013年から2014年頃にかけて、国土交通省の国土審議会『豪雪地帯対策分科会』に特別委員」

検証結果：✓正確

根拠・出典：元文書の参考資料に国土交通省議事録が引用されている

記載内容：「2013年11月7日の第6回分科会」

検証結果：✓正確

根拠・出典：元文書の参考資料として国土交通省議事録が引用されている

4-5. 議員連盟

記載内容：「もくもく会（超党派の愛煙家議員連盟）」

検証結果：✓正確

根拠・出典：Wikipediaで確認「喫煙者であり、衆議院議員時代には超党派の愛煙家国会議員からなる議員連盟『もくもく会』に所属していた」

4-6. SNS関連

記載内容：「Twitterのフォロワー数はじわじわと増加。2015年頃には数百人規模だったフォロワーは、2024年秋の選挙時に約2,500人を突破」

検証結果：△要確認

根拠・出典：具体的な数値の根拠が元文書でも不明確

記載内容：「YouTubeチャンネル登録者数は2025年時点で約778人」

検証結果：△要確認

根拠・出典：元文書に記載があるが、リアルタイムデータのため変動する可能性あり

改善提案

修正が必要な箇所

1. **議員在職期間の記載**（重要度：高）
 - 誤：「議員在職期間（2015-2017年、2024年末以降）」
 - 正：「議員在職期間（2012年12月-2017年10月、2024年10月以降）」
2. **内閣名の正確性**（重要度：中）
 - 「海部内閣の運輸大臣秘書官」→「第2次海部改造内閣の運輸大臣政務秘書官」または単に「運輸大臣政務秘書官」
 - 「橋本内閣の官房長官秘書官」→「第2次橋本改造内閣の内閣官房長官政務秘書官」または単に「内閣官房長官政務秘書官」
3. **時制の整合性**（重要度：中）
 - 2025年9月の選挙対策委員長就任について、文書全体の時制（2015-2025年の総覧）との整合性を確認

追加確認が推奨される情報

1. 法案提出数「約9本」の具体的な根拠
2. SNS数値（フォロワー数、チャンネル登録者数）のリアルタイム確認
3. 国会発言回数「数十回規模」「総文字数数万字」の具体的な数値
4. 最低賃金「2025年度の全国平均最低賃金は時給1,054円」の確認

総合評価

記事全体としては、基本的な固有名詞、日付、主要な経歴情報は正確に記載されており、信頼性は高いと評価できます。主な問題は：

1. 初当選年を2015年ではなく2012年と正確に記載すべき
2. 内閣名をより正確に表記すべき
3. 検証困難な推定値（法案数、SNS数値など）については注釈が望ましい

全体的には、公開されている公式資料や報道と整合性が高く、大きな事実誤認は少ない良質なレポートと言えます。